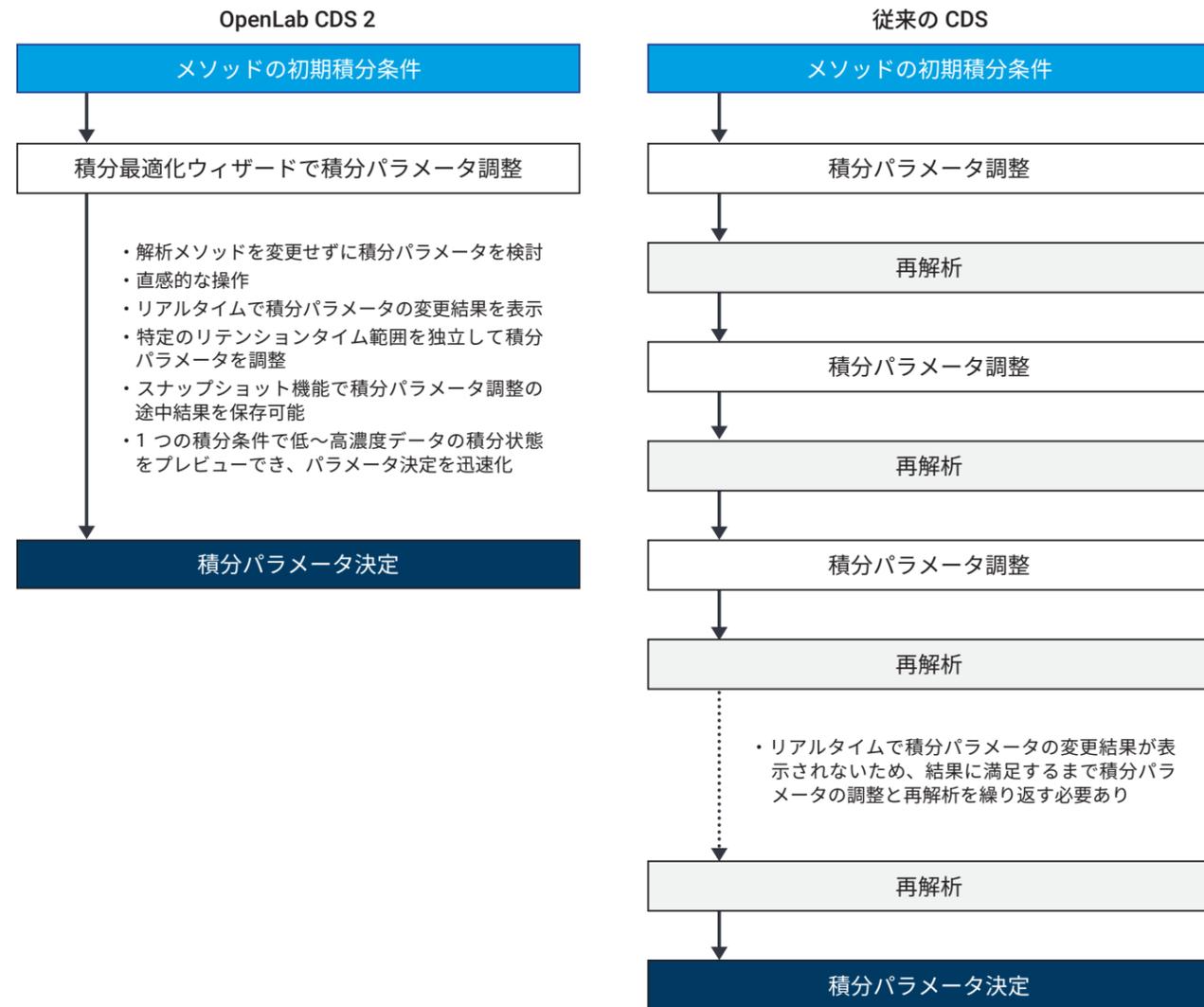
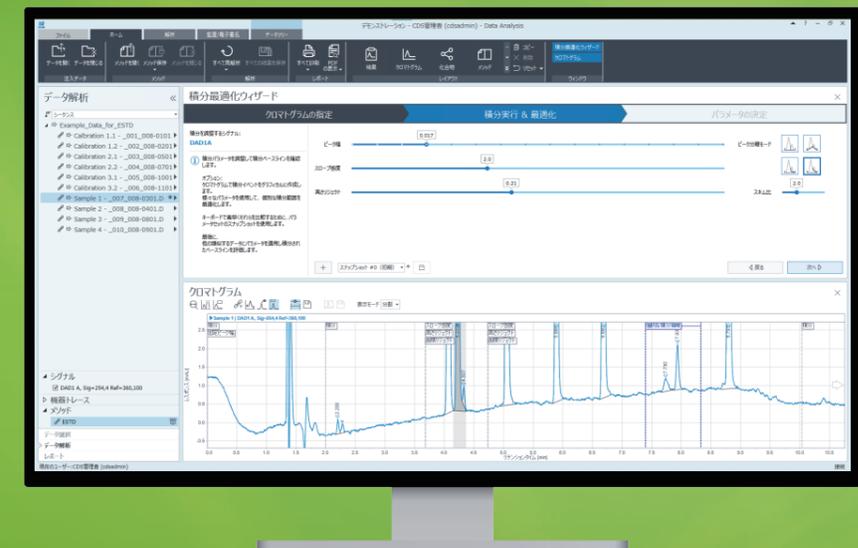


積分パラメータ決定までのプロセス – OpenLab CDS 2 と従来の CDS との比較



OpenLab CDS 2 の積分最適化ウィザード - インテグレーションオプティマイザー



www.agilent.co.jp/chem/openlab

カスタムコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本資料掲載の製品は、すべて研究用です。本資料に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。アジレントは、本文所に誤りが発見された場合、また、本文書の使用により付随的または間接的に生じる損害について一切免責とさせていただきます。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2022
Published in Japan, December 23, 2022
5994-5178JAJP
DE30262132

最適な積分パラメータを素早く簡単に発見

従来は、目的ピークのみを正しく積分する条件を決定するために、条件の調整→再解析→クロマトグラムの積分具合の確認 の作業を繰り返す必要があり、多くの解析時間を要していました。
OpenLab CDS 2 では、「インテグレーション・オプティマイザー」機能を使用し、直感的かつグラフィカルな操作を1度実施するのみで、思い描いたとおりに目的ピークを積分する条件を簡単に見つけることができます。



積分最適化ウィザード

クロマトグラムの指定
積分実行 & 最適化
パラメータの決定

積分を調整する信号:
DAD1A

積分パラメータを調整して積分ベースラインを確認します。

オプション:
クロマトグラムで積分イベントをグラフィカルに作成します。
様々なパラメータを使用して、個別な積分範囲を最適化します。

キーボードで素早くそれらと比較するために、パラメータセットのスナップショットを使用します。

最後に、他の類似するデータにパラメータを適用し積分されたベースラインを評価します。

ピーク幅: 0.017

スロープ感度: 2.0

高さリジェクト: 0.21

ピーク分離モード: [アイコン]

スキム比: 0.0

リアルタイムで結果を見ながら積分パラメータを調整

STEP 1 で選択したクロマトグラムが表示され、クロマトグラムの拡大や縮小操作も可能です。画面上部で積分パラメータの値を調整すると、リアルタイムでクロマトグラムのベースラインが変更され、結果を確認しながら積分パラメータを調整することができます。

積分パラメータをマウスで簡単設定

スライダーをマウスで左右に操作することで、基本的な3つの積分パラメータであるピーク幅、スロープ感度、高さリジェクトの値を変更し、その結果プレビューをリアルタイムで確認することができます。

目的に応じたピーク分離モード選択

ベースライン分離していないピークの積分方法を選択します。
[指数曲線スキム] および [直線スキム] の場合、スキム比の調整もできます。

時間領域ごとの積分パラメータ設定も可能

「個別な積分領域」(紫色の破線)を設定し、この部分の積分条件だけを独立して調整することで、複雑なクロマトグラムにおいても最適な積分パラメータを素早く決定できます。